

小山市まちづくりと新交通の導入に関する検討委員会  
新交通システム部会（第2回）

平成28年2月26日(金)開催

意見と対応方針

項目	意見	対応方針
計画条件の整理	高岳引込線の線路をJR小山駅まで延伸できる見通しはあるのか。	• 関連主体との協議を行いながら具体化していく。
	線路を利用できないBRT等は対象とせず、高岳引込線の線路を利用可能なシステムを前提とする。	• 計画条件の設定に基づき、検討を具体化していく。
新たな交通システムの基本方向について	新たに延伸する路線は、踏切になるのか、信号になるのか。	• 適用可能な事業法の検討等を行いながら検討を具体化していく。
	システムはLRTを基本スタンスとすることでよいか。	
	新たに北や東へ延伸させる場合、どこの空間を使うのか。	
	沿線のまちづくり計画を踏まえて、来年度に延伸もふくめたルートを設定するのか。	• まちづくりの具体化と合わせて今後の展開を具体的に検討していく。
	高岳引込線に貨物を走らせる時は、事前に旅客に情報提供できるのか。	
	新交通システムは、何年から運用開始する目標か。	
	新交通システムは市の上位計画の方向性と結びつくのか。	
延伸が将来的な検討課題なのであれば、基本的な考え方の「②新規路線の想定」は「③導入システムの選択」に統合した方がよい。	• ご指摘を踏まえ修正をした。	

以上